

総合工学委員会科学的知見の創出に資する可視化分科会(第24期・第7回)
・可視化の新パラダイム策定小委員会(第24期・第3回)合同会議 議事録

日時:令和2年7月4日(土)11:00~12:30

場所:遠隔会議(主催会場:慶應義塾大学矢上キャンパス 26 棟 208C 室)

参加者(敬称略・五十音順・下線は分科会かつ小委員会委員):

分科会:大倉, 行場, 小山田, 高橋(桂), 萩原, 明和, 越塚, 下條, 田中(覚), 藤代

小委員会:伊藤, 植村, 大林, 栗山, 小林, 小池, 斎藤(隆), 斎藤(英), 高橋(成), 竹島, 土井, 茅,
三末, 森, 森島, 山口

配布資料

資料 VIS24-7-0	開催通知
資料 VIS24-7-1-0	報告案「科学的科学的知見の創出に資する可視化—文理融合研究と新パラダイム策定—」
資料 VIS24-7-2-0	第4回公開シンポジウムポスター
資料 VIS24-7-2-1	第4回公開シンポジウムスライド資料
資料 VIS24-7-2-2	エリアモデル
資料 VIS24-7-3-1	第5回公開シンポジウム開催案
資料 VIS24-7-4-0	第24期分科会設置資料
資料 VIS24-7-4-1	Visualization Viewpoints

議事次第

- 1) 報告案「科学的知見の創出に資する可視化—文理融合研究と新パラダイム策定—」について
(小山田委員)
- 2) 第4回公開シンポジウムについて(藤代委員)
- 3) 第5回公開シンポジウムについて(田中委員)
- 4) その他

討議

- 1) 報告案「科学的知見の創出に資する可視化—文理融合研究と新パラダイム策定—」について
(小山田委員)
 - 資料 VIS24-7-1-0 に基づいて, 報告案の現況について説明がなされた.
 - 藤代委員, 田中委員より, 報告の小委員会活動の記述に関する説明がなされた.
 - 7/30 午後に幹事会附議で説明が予定されている.(小山田委員, 田中委員, 藤代委員が出席予定)
 - この報告に基づいて 25 期での提言につなげる予定である.
- 2) 第4回公開シンポジウムについて(藤代委員)
 - シンポジウムの全体の流れおよび内容について, 資料 VIS24-7-2-0, VIS24-7-2-1, VIS24-7-2-2 に基づいて説明があった.

3) 第5回公開シンポジウムについて(田中委員)

- 第5回公開シンポジウムの計画について、資料 VIS24-7-3-1 に基づいて説明がなされた。
- オンライン開催を予定している。
- 公開シンポジウム全体の長さに関しては、本日の公開シンポジウムの様子を見て検討する。
 - 別の日本学術会議でオンライン公開シンポジウムを4時間半やったが、特に長いとは感じなかった。全体的に好意的な意見が多かった。ご講演者の了解が得られれば、ビデオを公開してもよいのではないか？(大倉委員)
 - 「ゲームセンターあらし」や「こんにちは Python」などの著者である漫画家の「すがやみつる」氏と交流があり、今回の文理融合のシンポジウムの講演者として適任なのではないか？(大倉委員)
- 招待講演者に関しては、小山田委員、田中委員、藤代委員に一任する。
- 第5回公開シンポジウムの開催は、異議なく承認された。

4) その他

- 第25期分科会について、今期と同様に継続して申請する予定である。(小山田委員)
 - 分科会の名前はそのまま継承するのか？(藤代委員)
 - ◇ 問題がなければ継承する予定である(小山田委員)
 - 設置目的に文理融合のほかに、人間科学、人類の未来に資する、人類の幸せのための方法論の創造といったキーワードをいれておいてほしい。その方が第一部とのつながりなどがわかるのではないかと？(明和委員)
 - ◇ 科学には、人文科学、社会科学、自然科学なども入っているので、すべてを含めて考えているが、明示的にわかるように記した方がよいかと？(小山田委員)
 - ◇ 明和委員と相談して設置目的の部分を改定して提出した方がよいのではないかと？(大倉委員)
 - 「科学」が広い領域を指していて、1部から3部にまたがる内容である。今後、課題別に出すことを目指してもどうか？(萩原委員)
 - ◇ 課題別に提出するのは時期尚早な気がする。総合工学委員会で議論して、課題別委員会の方がよいかどうか確認した方がよいのではないかと？(大倉委員)
 - ◇ 26期に課題別に出してはどうか？(萩原委員)
 - 現在、2部の委員がいないので、加えた方がよいのではないかと？小委員会に入っている連携会員の方は親委員会に含めてもいいのではないかと？(大倉委員)
 - ◇ 各連携会員の確認が必要(小山田委員)
 - 分科会設置案では委員の構成が15名以内となっているが、現在は何名なのか？20名程度でもよいのではないかと？
 - ◇ 現在は10名である。人数を増やすと予算調整などで時間がかかる可能性がある。各部5名ずつと考えている。(小山田委員)
 - ◇ ネット利用の会議が今後のトレンドになる可能性が高い。旅費に関する制約が少なくなる可能性があるため、次期分科会の少し委員の数を多くしてもいいのではないかと？また、ネット会議になると参加率が高くなることが予想されるため、定足数を満たすことのハードル

が下がると考えられる。(高橋(桂)委員)

- 日本学術会議で Zoom を正式に契約してもらえないだろうか？(藤代委員)
 - ◇ なんらかのシステムが導入される可能性はある(大倉委員)
 - ◇ システムのライセンス契約が公式にされているが、複数の会議が重なるとライセンスが足りなくなる可能性がある。開催時に事務局に相談してみてはどうか？(高橋(桂)委員)
- 分科会のメーリングリストで議論する予定である。(小山田委員)

以上